

2020年 被爆75年
今年も年末被爆者見舞いを届けることが出来ました。ご協力に感謝。



恵の丘長崎原爆ホーム

「恵の丘」では例年、私たちの訪問にたくさんの入所者の方が歓迎してくれ、交流が楽しみでしたが、今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止で少々さびしいものになりました。玄関でお見舞いをと考えていましたが、せっかくの機会ですと、堤房代施設長の案内で被爆者の代表へお見舞いを届け、創立50周年のタペストリーの前で記念写真を撮り、フランシスコ教皇の言葉に込めて平和への努力を誓いあうことが出来ました。



長崎原爆被災者協議会
会長 田中 重光



日本赤十字社 長崎原爆病院

原爆病院では院長の谷口英樹さんと懇談し、お見舞いを届けました。昭和33年5月開設以来、原爆被害者の健康管理と治療に奮闘されてこられた原爆病院、全国からの心のもった被爆者へのお見舞いは原爆の後遺症に悩む被爆者はもとより医療関係者においても心の支えになりますと感謝の意を表されました。同時に被爆2世の谷口院長は核兵器のない世界へ、そして、原爆被爆者の健康管理と治療に一層努力したいと話されました。

長崎被災協では田中会長へ見舞いを届けました。2020年は被爆から75年の節目の年でありながら、コロナ禍で被爆証言もだが活動に困難が出た。皆さんからのお見舞い嬉しい。大事に生かしたいと感謝と決意を話されました。今回は3か所とも大矢代表理事と佐藤事務局長二人だけの訪問になりました。